

PSC 主な活動2013年3月~4月

- 3/1(金) 第7回企業&NPO協働アイデアコンテスト「フォローアップ会」
- 3/4(月) 定例事務局ミーティング
- 3/5(火) 山梨県・新しい公共支援事業「協働推進コーディネーター養成講座」(講師)
- 3/7(木) 富山県・NPOと企業の協働マッチング実行委員会 NPOと企業との協働事例報告会
- 3/11(月) 「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」メンター業務・宮古、SAVE JAPAN プロジェクト運営支援団体説明会(大阪)、三重県「企業とNPOのパートナーシップを考えるセミナー」(参加)
- 3/12(火) 「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」メンター業務(～15日)
- 3/18(月) 真誠CSR委員会⑩
- 3/19(火) 香川講演会(香川ボランティア・NPOネットワーク)
- 3/20(水) 徳島講演会(香川ボランティア・NPOネットワーク)
- 3/21(木) 愛媛県(新しい公共支援事業)講演、シニアボランティア会議⑩
- 3/22(金) 内閣府「新しい公共支援事業」ヒアリング(来所)
- 3/23(土) 名古屋市協働会議、なごや環境大学: 講座チーム・共育ゼミ報告会
- 3/25(月) 静岡県インタビュー(来所)
- 3/26(火) 日本ガイシ訪問
- 3/27(水) PSC理事会⑥
- 3/28(木) 韓国ビジネスセンター(kotra) 来所、なごや環境大学: 幹事会、カフェ・アイリス運営会議
- 3/30(土) 東浦社会福祉協議会「広報セミナー」(講師)

- 4/1(月) 定例事務局ミーティング
- 4/3(水) 中産連喫茶準備(検討)
- 4/5(金) 元気なKASU会講演会(参加)
- 4/6(土) 中産連喫茶準備(検討)
- 4/9(火) 復興庁公募説明会、リクルート訪問(東京)
- 4/13(土) EPTとことんトーク、中産連喫茶準備(検討)
- 4/18(木) 真誠CSR委員会⑩、シニアボランティア会議①
- 4/19(金) ゆめネット来所、中産連喫茶準備(検討)
- 4/21(日) 第10回P賞運営委員会①
- 4/23(火) CSOラーニング意見交換会・募集説明会、名古屋市来所
- 4/24(水) NPO法人会計基準協議会: 2013年度総会(東京)
- 4/25(木) カフェ・アイリス運営会議
- 4/27(土) 「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」メンター業務・メンバー自主勉強会
- 4/28(日) 「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」メンター業務(～30日)

PSC ReportのWeb化のお知らせ

PSC設立以来、長きに渡り発行して来ましたが、次号より紙媒体でなく、Web化して会員のみなさまにお届けする予定です。新たなチャレンジにご期待下さい。変わらぬご愛顧の程よろしくお願ひいたします。*今まで通り紙のPSC Reportをご希望の会員さまには郵送させていただきます。

事務局便り

事務局体制が大きく変わり、この4月から会計を担当することになりました。PSCに入って4年目になりますが、会計は超・初心者(毎日、四苦八苦しています...)。4月24日(水)はNPO法人会計基準協議会の総会(東京)に参加し、会計基準の普及に努めていく必要を感じながら、名古屋に戻ってきました。

2013年度も引き続き、皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします!(松橋)

PSC PICK UP! ピックアップ

【2013年度PSC定時総会&講演会のご案内】

定時総会の時期になりました! 同封の出欠ハガキにて「出席」「欠席」をご記入の上、5月12日(日)必着で事務局までお送りください。皆さまのご参加を、お待ちしております。

- 日時: 2013年5月25日(土) 13:30~
- 場所: 名古屋工業大学 11号館2階1101(通称T1)教室
- スケジュール
- 13:00~ 受付
- 13:30~ 定時総会
 - ・2012年度 事業報告・決算報告
 - ・2013年度 事業計画・予算審議
 - ・その他
- 15:00~ 講演会
 - テーマ: 「さわやか愛知の理念達成は3C活動から(チョイス・チャレンジ・チャンス)」
 - 講師: 川上 里美氏
 - (N) さわやか愛知 理事長/PSC理事
- 17:00~ 懇親会 キャンパス内の会場にて(参加費: 2000円)



【ホームページ作成・更新ボランティアを募集します!】

PSCホームページの作成・更新作業をして下さるボランティアさんを募集します。ホームページ作成経験のある方、歓迎!! あなたのスキルを是非PSCにお貸しください!!

- 活動日: 月2~3回程度。変更・更新作業のある時をお願いします。
- 活動場所: 当法人事務所(在宅可。応相談)
- 募集定員: 1名
- 団体URL: <http://www.psc.or.jp/>
- 交通費支給(但し上限あり)



詳しくは、事務局までお気軽にお問合せください。

【「損保ジャパンCSOラーニング制度」が始まります!】

大学生・大学院生が環境問題に取り組むCSO(NPO・NGO)などで8カ月のインターンシップ研修を行う制度です。PSCでは、2009年度からインターン受入先として参加しています。4月23日(火)に募集説明会を行い、現在オンラインでインターンへの応募を受付中です(5月6日(月)〆切)。今年はどんな学生さんとの出会いがあるでしょう?今からとても楽しみです。*詳細はコチラ: 「損保ジャパンCSOラーニング制度」サイト <http://www.sjef.org/internship/2013/index.html>

【「第8回協働アイデアコンテスト」アイデア募集が始まります!】

「第8回企業&NPO協働アイデアコンテスト」の開催が決まりました。最終選考会は10月、6月頃には応募エントリーを開始する予定です。企業と協働すると今よりもっと活動が広がります。書類審査を通過し最終選考会へ進む団体にはプレゼン資料作成のアドバイスも行います。一緒に協働の実現へとつなげていきましょう! 中部広域9県(富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀)のNPOのみなさまからのエントリーをお待ちしております。

PSC

パートナーシップ・サポートセンター

Report

Vol.89

発行 特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
〒464-0067 名古屋市中区千種区池下1丁目11番21号
サンコート池下4F
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
E-Mail info@psc.or.jp URL <http://www.psc.or.jp>
発行人・岸田真代

「PSC15周年」&「パートナーシップ大賞第10回」を迎えて

2013年度が始まりました。パートナーシップ・サポートセンター15周年、「パートナーシップ大賞」10回目の記念すべき年でもあります。パートナーシップ・サポートセンターにとっては、いろいろな意味で「原点に立ち返る」年と位置づけています。NPOは企業ではないし、しかし単なるボランティアでもない。そんな当たり前の「市民活動としてのNPO」「NPOと企業の協働を推進する組織」としてのパートナーシップ・サポートセンターとは何か。それが、私たちにとっての原点でもあります。

組織や活動を見直し、ただ「働く場」としての組織ではなく、自らが自らの志によって動く組織。「想い」も「行動」も、ともにある組織。「知恵」も「勇気」も発揮できる組織。「協働」を単なる掛け声にしない、実のある関係づくりへ。そんな原点に立ち返って、2013年度を開始しています。秋(11/30)にはPSC15周年記念を兼ねた「第10回日本パートナーシップ大賞」記念イベントを予定しております。皆さまのお声とお力のご協賛を、ぜひパートナーシップ・サポートセンターにお寄せいただきたく、心からお願い申し上げる次第です。

2013年4月吉日
パートナーシップ・サポートセンター
代表理事 岸田真代



PSC15周年とパートナーシップ大賞第10回に向けての記念イベントを11月30日開催の「第10回日本パートナーシップ大賞」に併せて実施することが決まりました。

4月21日(日)、今年度初となる「パートナーシップ大賞運営委員会」が開催され、記念イベントについての検討が行われました。

「パートナーシップ大賞」に先立ち行われる記念イベントでは、第8回、第9回のグランプリ受賞者であるNPO、企業それぞれの代表者と、「パートナーシップ大賞事業」を主催してきたパートナーシップ・サポートセンターの代表理事岸田真代をシンポジストに、また第1回から協働事例の調査に関わってきた河井孝仁東海大教授がコーディネーターとしてシンポジウムを開催することが決まりました。

10年を超える年月を経た中でNPOと企業の協働の変化や到達点を明らかにし、今後の展望を熱く語る場になりそうです。



第1回運営委員会。記念の開催となる第10回の内容を検討

第10回日本パートナーシップ大賞の募集がはじまります!

募集期間 6月1日(土)~7月31日(水)

- * 日本パートナーシップ大賞 グランプリ
 - 1事業 記念盾及びNPOには副賞30万円
 - * 日本パートナーシップ大賞 準グランプリ
 - 1事業 記念盾及びNPOには副賞10万円
 - * 日本パートナーシップ大賞 優秀賞
 - 3事業 NPOに副賞5万円
- NPOと企業との協働に取り組んでいる皆様、ぜひご応募ください!!
募集要項と応募用紙は、6月1日(土)より、PSCのWebサイトからダウンロードいただけます。

パートナーシップ大賞 第10回記念シンポジウム

(パートナーシップ・サポートセンター創立15周年記念)
「パートナーシップ大賞から協働を考える(仮称)」
2013年11月30日(土) 会場: 中京大学

12:30~
シンポジスト
野田沙良氏(第8回グランプリ受賞NPO NPO法人アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会 常務理事)
松浦信男氏(第9回グランプリ受賞企業 万協製薬株式会社 代表取締役社長)
岸田真代(パートナーシップ・サポートセンター 代表理事)
コーディネーター
河井孝仁氏(東海大学文学部広報メディア学科 教授)

第7回 企業&NPO 協働アイデアコンテスト「フォローアップ会」開催

(公益財団法人中部圏社会経済研究所との協働)

協働実現まで、もう少し！
参加者みんなで協働実現に向けて考える。

3月1日(金)第7回企業&NPO 協働アイデアコンテストの入賞団体を対象に、「フォローアップ会」を開催。入賞団体から最終選考会その後の活動をご報告いただき、協働を実現するためにみんなでアドバイスや意見交換などを行いました。

さすが、最終選考会まで残った団体。みなさんそれぞれに、活動が進んでいて、「実現間近!!」の方もいらっしゃいました。「アイデアコンテストに参加して、活動が広がった。」というような嬉しいご報告も聞けました。

自団体の活動で多忙中、発表前は時間を割いて、何度も協働提案を練り直し、プレゼンターをつくり直してもらったので、「協働実現しました!」のご報告を心待ちにしています。(山崎)



みごと協働が実現!! 追加助成が決定!

そして、もうひとつ。第6回協働アイデアコンテストで最優秀賞獲得の、「CMIによるNPOの広報力アップおよび地域活力の見直し事業」を提案した、持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪さんから、協働実現しましたとのこと連絡が入り、追加助成が決定しました!
こうしたご報告をいただくのが一番嬉しいです。

パートナーシップ大賞の ちょっといい話

第9回日本パートナーシップ大賞グランプリ受賞のNPO法人植える美 in gの高校生らが、副賞30万円を使って東日本震災の被災地へボランティアに出かけたとのこと報告をいただきました。

グランプリ受賞事例の「まごコスメ」ハンドクリームを携え、2月8日より3泊4日のバスツアーに参加。被災地の仮設住宅や高齢者施設などを訪問し、ハンドセラピーを行ったとのこと。副賞の使い道は、高校生らが話し合っていました。今後の活動の幅の広がりにも期待できそうです。

入賞された団体に、副賞賞金のおよその使い道をお伺いすることはありますが、こういうアウトプットがあるのは事務局としても本当に嬉しい限りです。被災地でのボランティア活動の様子は、新聞各紙にも取り上げられました。(水野)



「新しい公共支援事業」は計15都府県へ“出前”

PSC代表岸田の“東へ西へ”
2013年3月~4月 その①

2年間続いた「新しい公共支援事業」も最後の月。私がこの2年間で全国に行った数も計15都府県(+1市)にのぼった。その仕上げとも言うべき3月の動きをまとめてみた。

3/5(火) 山梨県ボランティア協会からの初めての直接依頼による山梨県新しい公共支援事業「行政・企業・NPOパートナーシップセミナー」での講師。「協働推進コーディネーター養成講座」を実施してほしいとのことであった。100問チェックなどを実施。山梨県として、これまでに何回か実施しているものの、具体的なイメージがつかめなかった「協働推進コーディネーター」について、「当会や山梨県内の協働推進の明確な方向性を確認することができた。」との担当者からのメールはうれしい。

翌日は、「第9回日本パートナーシップ大賞」入賞のえがおつなげてさんを訪問。(富士山をバックに曾根原さんと「モリモリ」)こうした出張を利用してP賞の現地を訪ねるのは、一つの楽しみでもある。

翌3/7(木)は富山県の新しい公共支援事業の締めくくりとして、私自身3回目の富山訪問。前回のマッチングの成果を報告する「NPOと企業との協働事例報告会」では6つの協働が成立。居合わせた内閣府の「新しい公共」担当者も、NPOと企業の協働の意義と成果にびっくりしたらしく、「今日は来てよかった。」と真顔。

3/19(火)~3/21(木)の3日間は四国へ。香川ボランティア・NPOネットワークによる香川・高松と徳島での連続講演

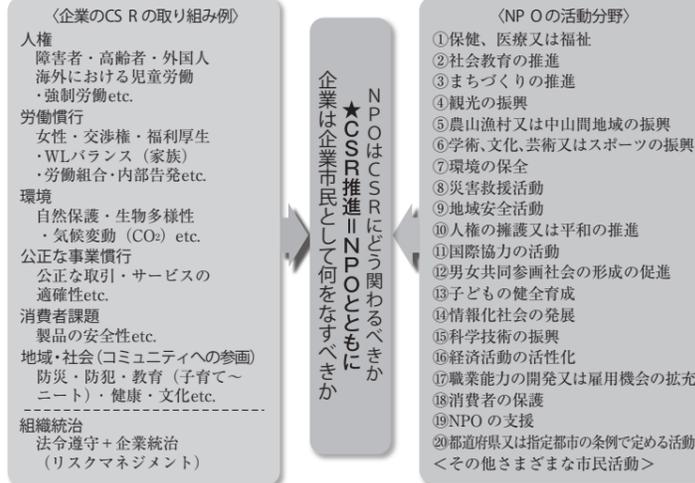
会。これは、連合や労協等を巻き込んで、私がやっているステークホルダー・ダイアログを活用した企業と市民の関係づくりの手法を取り入れようと企画してくれたもの。最後の3/21(木)は愛媛県の新しい公共支援事業(えひめ地域政策研究センター)締め括りの地域円卓会議での講演。終了後、夜8時に出る飛行機の時間まで道後温泉を満喫。

翌3/22(金)には、内閣府から「新しい公共支援事業」のヒアリングに事務所へ。12年度にPSCが実施した事業の評価が高く、全国から10余りの事業の1つとして選ばれたとのこと。また3/25(月)には、静岡県からもインタビューに来所。これは、静岡県の「新しい公共」の一つの事業のアドバイザーとしてかかわったことによるもの。そういえば、3月は、これ以外にも、三重県や磐田市(静岡県)の調査報告書に関するアドバイザーとしての仕事も結構あった。

協働コーディネーターのためのマメ知識 ① ~CSRとNPOの活動はこんなに近い!!~

すぐに役立つ

CSRとNPOの活動はこんなに近い!!



図で示したように、本来CSRとして企業が取り組むべき課題とNPOの活動は意外と近いところにあることが分かる。NPOがCSRにどう関わっていくかを協働コーディネーターや中間支援として提起できれば、NPOと企業の協働を推進していくことに直結することにもなる。

もちろん、企業が企業市民として何をなすべきかを経済団体等が提起できればさらに協働は推進されるに違いない。そうしたつなぐ役割を、協働のコーディネーターは担っていくことになるのである。

また、中間支援団体の協働事業においては、双方が意欲的に関わるだけでなく、お互いの役割を明確にし、それぞれが何をすべきか具体的なレベルで把握すること、そして、それぞれの組織の目標をお互いが共有しておくことは大切である。【第8回パートナーシップ大賞事例集「NPO×企業協働のススム」より抜粋】

株式会社真誠 CSR委員会

3年目となる2013度は、「NPOとの協働事業」と「CSRレポート作成」を2本柱に実施

「株式会社真誠 CSR委員会」の第11回が3月18日(月)、第12回が4月18日(木)に開催されました。第11回CSR委員会からは、子育てママを支援する母親らの団体「ママのホンネ研究所」も参加。これまで本委員会で作ってきた協働事業案を一緒に行うことになりました。

第12回委員会では、まず、ママのホンネ研究所からの事業提案を受け、真誠らしい協働事業にするためには何をすればいいの、前向きで活発な意見交換が行われました。今後は両者での検討を重ね、協働事業を進めていくこととなります。

後半はCSRレポートの作成について検討。何を掲載するかの内容とそれぞれの役割分担を決めていきました。ステークホルダー・ダイアログを実施して3年。委員会で手作りするCSRレポートは、今まで話し合ってきたことが形になるとあって、参加者の想いのこもったものになりそうです。(山崎)



11時間かけて岩手県宮古へ

PSC代表岸田の“東へ西へ”
2013年3月~4月 その②

3月のもう一つのビッグイベントは、3/11(月)から3/15(金)にかけて岩手県を訪問したこと。日本NPOセンターがワールド・ビジョン・ジャパンとの協働で実施している「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」のメンターとして昨年から関わっているもので、宮古、大槌、北上の3団体のメンバーを支援している。

2回目の訪問になる今回は、メンター8名が集まる「岩手メンター会議」(13~14日)とも重なり、1週間に及び訪問となった。

ところが、である。何と行きは最初の訪問地宮古に着くまで11時間を要することになった。強風のため飛行機が欠航。やむを得ず名古屋駅まで引き返し新幹線に向かう。が、これも強風で遅れ、盛岡からの最終バスが待っていてくれてぎりぎり間に合った。が定員オーバーで2台目のバスを用意するというハプニングに遭遇。ホテルにようやく到着したのは23時半。

翌9時過ぎから宮古の団体を訪問、田老地区の、襲ってくる津波が見えなかったというあの防潮堤の上に立って、改めて恐怖をかきたてられつつ、3.11の宮古市主催の追悼式にも参加させていただいた。

4月後半(4/26~30)もまたまた岩手へ。メンバーの自主勉強会への初参加を兼ねて、またまた3団体を訪問。桜前線がちょうど岩手あたりに・・・?今度は飛行機、飛んでくれるかな?

その他にもいろいろあるけど…次の機会に譲りましょう。(2013.4.23 岸田真代)

